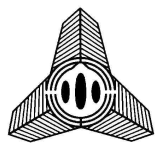


学校教育目標 『心はずませ 夢にむかって』

みどり かぜ



# 緑の風

～豊かな心・確かな学力～

潟上市立天王小学校  
学校報 第21号



平成29年 2月17日

## 薄氷がキラキラ光り 春を告ぐ



【左：△年生のなわとび集会：2/14，△年生のなわとび集会：2/15，△年生の親子ゆ：2/10】

明日は暦の上では『雨水』です。先週までの多量な降雪と冷え込みの厳しさが、次第に和らいできました。雪がみぞれから雨に変わる日も、少しずつ増えてきました。

さて、本校のインフルエンザの状況についてお知らせします。今日現在での罹患者数は全校で2名です。2月に入ってからは、1～5名の罹患者数にとどまっています。

ただ、本日、〇〇〇〇がノロウィルスを広げないために臨時休園となりました。本校にも兄弟等がおりますので、少し注意が必要です。もしも、週末から来週にかけて、お子さんの体調がすぐれない場合は必ず病院で診察を受けるようにしてください。

本校の子どもたちは、今日も昼休みになると、雪の中をグラウンドや校庭、体育館などで元気に走り回ったり、汗を流してなわとびの練習に取り組んだりしています。「子どもは風の子・元気な子」を、文字通り体現している子どもたちです。

こうして元気に過ごすことができるのも、ご家族の皆様の温かい言葉かけやご協力のおかげです。本当にありがとうございます。子どもたちが明るく・元気に・快活に毎日を過ごすことが、「地域を明るく・元気に」します。子どもたちは、ご家族の皆様の宝であると同時に、地域の宝でもあります。学校と家庭がより一層連携して、礼節をしっかりと身に付けた、地域から愛される風の子に共に育てていきたいと思ひます。

礼節に関連して、うれしいお話を一つご紹介します。地域の方から学校に寄せられたお話です。お話の概要は、おおむね次のようなものでした。

「二田地区の方が、天王図書館に行く途中、二田駅前周辺を歩いていたら、学校帰りの数人の子どもたちに出会い、『こんにちは』、『さようなら』と明るく・元気にあいさつしてくれたそうです。子どもたちだけで、こうしてきちんとあいさつができる天王小の子どもたちはすばらしいですね。」と、気持ちの良いあいさつを受けて、大変感激したとのお話をいただきました。お話を届けていただきました、地域の皆様、ありがとうございます。自分から進んで、地域の方々にも自然にあいさつのできる「風の子」に、これからもご家庭と共に育てていきたいと思ひます。(校長 佐藤博英)